【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】令和5年3月23日(2023.3.23)

【国際公開番号】WO2022/190312
【出願番号】特願2023-505008(P2023-505008)
【国際特許分類】
Ｂ２９Ｃ 70/34(2006.01)
Ｂ２９Ｃ 70/54(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ２９Ｃ 70/34
Ｂ２９Ｃ 70/54

【手続補正書】
【提出日】令和5年1月6日(2023.1.6)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４１】
図８に示すように、積層体２００は、強化繊維シート（シート材料）２１０と、強化繊維シート２２０と、強化繊維シート２３０と、強化繊維シート２４０と、強化繊維シート２５０と、を積層したものである。強化繊維シート２１０の上面に接触して連結シート３０の第１端部３０ａが配置され、強化繊維シート２５０の下面に接触して連結シート３０の第２端部３０ｂが配置されている。図８に示す積層体２００は、５枚の強化繊維シートを積層するものであるが、他の任意の枚数を積層した積層体２００を用いても良い。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００７４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００７４】
連結シート３０Ｄを軸線Ｙに沿って波型に配置する際に、例えば、図１６に破線で示すパイプＰを用いるのが望ましい。パイプＰは、強化繊維シートに接触するように軸線Ｘに沿って配置された円筒状の部材である。パイプＰを強化繊維シートに接触させた状態で連結シート３０Ｄを縫合材３００により積層体２００に縫合することにより、パイプＰの形状に沿って連結シート３０Ｄが波型に配置される。連結シート３０Ｄを積層体２００に縫合した後は、パイプＰを連結シート３０Ｄから引き抜くものとする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００９０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００９０】
本開示に係る賦形装置において、前記連結部材は、シート状または板状に形成されるとともに前記積層体の表面および裏面に配置され、複数の前記シート材料とともに前記縫合材により縫合されている構成が好ましい。
本構成に係る賦形装置によれば、シート状または板状に形成されるとともに積層体の表面および裏面に配置される連結部材が複数のシート材料とともに縫合される。そのため、

シート状または板状に形成される連結部材に張力を付与することで、連結部材に連結される縫合材により縫合された複数のシート材料に所望の張力を付与することができる。